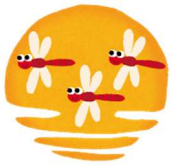

新任職員からのメッセージ

松楓園で働き始めて約半年が経ちました。最初はわからない事だらけで戸惑ってばかりいましたが困ったことがある度に先輩職員の方々が丁寧に教えてくださり、利用者の方の「ご苦労様です」「ありがとう」の言葉が励みになり皆さんのおかげで徐々に仕事に慣れることができました。

私が高齢者施設で働こうと決意したのは一緒に住んでいる祖父母がきっかけです。小さい頃から育ててくれた祖父母が今まで支えてくれたおかげで私は大人になることができました。だから次は私が祖父母のような高齢者の方々を支えられるようになりたいと思い松楓園に就職しました。

少しずつ仕事に慣れてきたとはいえまだ戸惑う事が沢山あり先輩職員や利用者の方に頼ってばかりいますが、いつかは皆さんに頼られるような職員になれるよう先輩職員の働きをよく見て学び日々成長していきたいです。

松楓園へ就職する前、高校卒業したばかりの私は不安な気持ちでいっぱいでした。「養護老人ホームってどんなところだろう」「社会人としてやっていけるかな」「先輩はどんな方達なんだろう」とずっと考えていました。

松楓園での仕事初日、先輩方は笑顔で迎え入れてくれました。不安でいっぱいだった私はとてもうれしくてホッとしたのを覚えています。松楓園に勤めて約5カ月経ちましたが、驚くことが沢山ありました。松楓園に勤める際に初めて知った「養護老人ホーム」という言葉ですが、とても元気で沢山面白い話をして笑わせてくれる方や、今はコロナウイルスで活動が難しいですが、カラオケクラブを毎週行っていたりとクラブ活動も活発に行っている方達が沢山いました。その中でも利用者さんの身体状況に合わせて、日々の生活の支援を行っていきたいと思います。また、利用者さんとのコミュニケーションを大切にし、支援員として介護技術や介護の知識も毎日一歩ずつ高められるよう頑張りたいです。

作品のご紹介

毎年、敬老の日を迎える9月には、利用者の方々が日々の活動で制作された作品を施設内に展示をしております。
平常時であれば様々な作品をご来園者に見学をして頂いておりましたが、今年はコロナウイルスの影響でご覧いただくことが出来ませんでしたので、一部となりますが紙面でご紹介させていただきます。

65 周年を迎え、未来に向けてさらに羽ばたける様にとの願いを込めて、利用者の方々が一羽ずつ鶴を折り、飾ってくださいました。